

指導と評価の年間計画（シラバス）

1 学年－M

教科	国 語	科目	言語文化	単位数	2 単位
年次	1 年次	学科・コース	食品工学科		
使用教科書		新編言語文化（東京書籍）			
副教材等		新常用漢字必携パーフェクトクリア（尚文出版）			

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

「言語文化」では、言語活動を通して社会人として生活するために必要な国語の資質・能力を身につけることをねらいとしています。自ら学ぶ姿勢を持って授業に参加し、我が国の言語文化に対する理解を深めることを心がけてください。また、日常生活の中でも積極的に言葉に関わるようにしてください。

2 学習評価（評価規準と評価方法）

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語文化を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。		
観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	我が国の言語文化に対する理解を深めるとともに、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力を身に付けている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身に付けている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、課題・発表 定期考査、小テストの結果 	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、グループ討議・発表 定期考査、小テストの結果 	<ul style="list-style-type: none"> 学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、課題、グループ討議、発表 自己評価、相互評価等

上に示す観点に基づいて評価規準を設定し、学習のまとまり（単元等）ごとにA（十分満足できる）、B（おおむね満足できる）、C（努力を有する）の3段階で評価し、それらの評価を基に学年末に5段階の評定にまとめます。そのために学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

3 年間の学習計画等

学期	単元	知識・技術	思考判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	現代文編 随筆 さくらさくらさくら 『花』といえば『桜』？	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。 進んで現代の言語文化に息づいている古典の常識について理解し、「桜」についてふだんのように感じているか考え、発表しようとしている。
	古文編 古文入門 古文に親しむ 児のそら寝	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。 進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを理解しようとしている。

	漢文編 漢文入門 訓読の基本 故事成語	・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。	・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	・進んで訓読のきまりを理解し、学習課題に沿って故事成語の元になった話を読み、故事成語の果たす役割について考えようとしている。
	現代文編 小説 とんかつ	・文章の意味は、文脈の中で形成されていることを理解している。 ・語句についての理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	・進んで本文に描かれた出来事や会話、行動の描写を捉え、学習課題に沿って登場人物の心情とその変化を読み取り、主題について考えようとしている。
2 学 期	古文編 随筆 徒然草	・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。	・「読むこと」において作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	・進んで自分のものの見方、考え方を深め、作者の考えを的確に捉えようとしている。
	現代文編 詩歌 短歌・俳句	・語句についての理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	・進んで短歌・俳句の特徴や表現効果を理解し、それぞれの歌に込められた情景や心情を読み取ろうとしている。
	古文編 折々のうた 言語活動 短歌を作る	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現技法とその効果について理解している。	・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して表現したいことを明確にしている。	・進んで和歌における表現の特色を理解し、自分の感じたことや伝えたいことを効果的に表現しようとしている。
	漢文編 漢詩 言語活動 訳詩を書く	・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景を理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などを理解している。	・「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や文体、描写、語句など表現の仕方を工夫している。	・進んで言葉の選び方や表現の仕方を工夫し、元の漢詩の魅力が伝わるように訳詩を書こうとしている。
	現代文編 小説 羅生門	・語句について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。	・「読むこと」において内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。	・進んで本文の構成や場面の展開、表現の特色を捉え、登場人物の心情変化を読み取り、主題について考えようとしている。
3 学 期	古文編 伊勢物語	・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解している。	・「読むこと」において作品の成立した背景や田の作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	・進んで歌物語の特徴や表現の仕方について理解し、各章段に描かれた内容や和歌に込められた心情を的確に捉えようとしている。
	漢文編 論語	・言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。	・「読むこと」においてものの見方、感じ方、考え方を捉え内容を理解している。	・進んで作品に表れているものの見方や考え方を理解し、自分のものの見方や考え方を豊かにしようとしている。
現代文編 小説 夢十夜 デューク	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、分野文章の中で使っている。 ・語句についての理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において叙述を基に的確に捉えている。作品の成立した背景や他作品との関係を踏まえ内容の解釈を深めている。	・進んで文章の構成や展開、表現の特色などを捉え、小説の中に展開する独自の世界を味わおうとしている。	

※上記の内容は授業の進度によって変更される場合があります。